



みんなの考えを共有しようの巻(6) 方法の工夫編③

◆まずは定期テストに向けてしっかり復習するのが大事。振り返りは必須！ ということで今回は……

Check!
01

方法の工夫③ (授業などの振り返りをスムーズに編)

①振り返りの工夫

- ・テストにでそうな問題を予想しながら授業内容を振り返る
- ・英社など暗記が強く関わってくるものは自学ノート等に単語帳のようなものを作成し、国語など授業内容がテストにそのまま影響するようなものは授業ノートを見返す
- ・数学や英語は一通りの問題をやった後に間違えたもの等を繰り返しやり直す

おお！ 実際に予想問題を作ってみたりするのもいいね！

間違いの徹底チェックはもはや常識！

②振り返りを見越した、ノートなどの工夫

- ・ワークで出てきた単語は教科書にラインを引く
- ・大事な部分や要点をノートにまとめ、問題が分からなくなったときに、見返して活用する
- ・ノートを後で見返したとき見やすいように工夫している
- ・大事などころにはイラストを付けたりして覚えやすくしている
- ・大事などころは色を変える ・蛍光ペンをあまり使わない
- ・できるだけノートに黒と赤しか使わない
- ・自学ノートをきれいに使おうとして時間を使わない
- ・赤シートで何回も復習できるようにしている

ポイント整理はいいことです。ただし、時間をかけすぎないように！

色の使い方はいろいろ。さまざまな色を使いすぎると、逆に大事なポイントがわからなくなることも。工夫が必要です。

大事なのは「きれいさ」ではない！でもきれいじゃないと読みにくい！ ほどほどに！

授業のノート、きれいにまとめている人は素晴らしい！……なのですが、中身を理解していなかったり、覚えていなかったり、問題を解くことができなかったりでは困ります。逆に、振り返れないほど読めないノートも困ります。

自学ノートを「振り返りのためのまとめノート」にするのか「問題を解く作業用ノート」にするのかは人によりけりでしょうが、いずれにしても「きれいさ」を求めるのはほどほどに。でも、「作業用」だからといって振り返れないほどぐちゃぐちゃだと、自分のミスの理由もわからなくなってしまうので、字はある程度丁寧に！（あっ、「ミスなんか振り返りたくないよ」というあなた！ ミスの理由を説明できるようにしておくのも、思考力を高めることにつながるんですよ！）

Check!
02

Q&A「保体と技術・家庭科の勉強方法」



家庭科・若林先生からのお返事です。

「家庭科はテストの回数が少ないため、どうしても範囲が広がってしまうので、テスト前に詰め込もうとするととても大変です。他教科の勉強もしなくてはいけないので、毎回あまり勉強ができないままテストを迎えてしまう人も多いと思います。

そのため家庭科の勉強のコツは、授業をしっかり聞き、ある程度授業内で知識や考えを定着させることです。家庭科は日常生活に直接結びつく教科ですので、頭の中で自分の生活を振り返り、『このことを今日からの生活で取り入れてみよう!』など想像しながら授業を聞くことによって、より知識が定着しやすくなります。授業をしっかり聞き、テスト前に学習ノートやワークシートを使用して復習を行うと、テストの手ごたえが違ってくると思います。質問や疑問、自分の生活で悩んでいることでも構いませんので、どんどん聞きに来てください。」

技術や保健体育でも同じことが言えそうですね。授業で日常生活と結び付けたり、実際にスポーツの実技をしながら知識を確認したりするなど、普段からの備えが大切そうです。新聞を読んだりテレビでスポーツを見たりしたときに、身につけた知識を思い出してみるのもよいですね。新聞はいろいろな話題が毎日提供されるので、実はけっこうおすすめです。

今回で、「みんなの考えを共有しよう」シリーズはひとまず終了です。

中間テストまであと13日となりました。紹介したさまざまな工夫を、ぜひ役立ててくださいね！